

令和3年度 学カスタンダード指導計画・報告書【様式1】

教科：(国語)科目：(国語総合) 対象：(第1学年1組～7組)

教科担当者：(1,2,3,4,5,6,7組)鳥羽通子 猪狩寛子 田中千佐子

教科の 指導目標	四領域である話すこと、聞くこと、書くこと、読むことを重点に、考える言語としての国語力をより緻密で豊かなものにしていく。 また、言語を通して社会の事象を理解し、それを踏まえて自らの考えを適切に相手に伝えていくための表現力をつけさせる。
-------------	---

	高校入試等の分析結果	分析結果を踏まえて検討した指導内容	指導体制の確立
年度当初	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な文章内容でも把握するのが困難であり、問題と答えがかみ合わない。 ・ひらがなや簡単な漢字の形がきわめて不正確な生徒がいる。 ・誤字脱字によるミスが目立つ。 ・文学的な文章を、登場人物の気持ちに即し、想像して読む力が十分ではない。 ・文章を論理的に理解し、読んでいく方法が身につけていない生徒が多い。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 漢字練習や重要語句についての指導を、授業中、家庭学習などを含めて行う。 2. 課題等の提出物を厳守させ、計画的に授業を受ける習慣を身につけさせる。 3. 問題演習を行い、課題の理解を深めさせるとともに、自分の考えを文章でまとめる練習を適宜おこなう。 4. 論理的な文章を読んでいく際のキーワード等を指摘し、評論等になれさせるとともに、新聞を読むことなどを勧める。 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 提出物等の期限厳守を徹底。 2. 教科会をとおしての教員の研鑽。 3. 家庭学習の習慣化。 4. 生徒に考えさせるための発問の検討。 5. 感染症対策をしつつも、相互に意見交換できる学習環境を作り上げる。

	生徒の変容	生徒の学力の定着状況	次年度に向けた指導体制の改善
年度末			